

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	キャリア教育
科目基礎情報						
科目番号	0350		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 0		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	0		
教科書/教材						
担当教員	全教員					
到達目標						
・自身の卒業後及び将来のキャリアを明確にし、高専や卒業後の学習や活動を考えることができ、高専での学習や卒業後の継続的な学習が、企業や大学等で活用・応用されているか説明できる。 ・技術者・研究者の企業等における実務を説明でき、責任ある基本的な行動を述べることができる。 ・企業等が社会的責任があり、グローバルな視点を持ち、地域社会の中で活動していることを説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
キャリアデザインと学習・活動	自身の卒業後及び将来のキャリアを明確にし、高専や卒業後の学習や活動を考えることができ、高専での学習や卒業後の継続的な学習が、企業や大学等で活用・応用されているか具体例を挙げて説明できる。		自身の卒業後及び将来のキャリアを明確にある程度決めることができ、高専や卒業後の学習や活動を考えることができ、高専での学習や卒業後の継続的な学習が、企業や大学等で活用・応用されているか説明できる。		自身の卒業後及び将来のキャリアを明確にし、高専や卒業後の学習や活動を考えることができず、高専での学習や卒業後の継続的な学習が、企業や大学等で活用・応用されているか説明できない。	
技術者倫理	技術者・研究者の企業等における実務を説明でき、責任ある基本的な行動を複数述べるができる。		技術者・研究者の企業等における実務を説明でき、責任ある基本的な行動を述べることができる。		技術者・研究者の企業等における実務を説明でき、責任ある基本的な行動を述べることができない。	
企業活動と社会貢献	企業等が社会的責任があり、グローバルな視点を持ち、地域社会の中で活動していることを説明できる。		企業等が社会的責任があり、グローバルな視点を持ち、地域社会の中で活動していることを説明できる。		企業等が社会的責任があり、グローバルな視点を持ち、地域社会の中で活動していることを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	工場見学や校外実習、見学旅行、企業内容説明会により、将来のキャリアデザインを明確にするとともに、高専での学習と卒業後の継続的な学習の必要性を学ぶ。社会における技術者・研究者の仕事や行動、価値観を考え、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを体験から学習する。また、企業の社会的責任や国内外における関係性、地域社会・産業界の抱える課題を考えるとともに、高専で学んできた知識が、社会でどのように活用・応用されているかを考える。また、自身の卒業後の進路、社会人としてのキャリアデザインを明確にできるようにする。					
授業の進め方・方法	【1-5年】 ・学年別進路説明会の実施 ・大学や企業等の外部講師による講演会・出前授業の実施 【4年】 ・工場等見学：青森県内や岩手県北の企業や工場、施設等への見学を行う。 ・校外実習：主に8月から10月にかけて、企業等での仕事を体験する。また、先輩などからの校外実習の体験報告会などを実施する。 また、8月上旬までにインターンシップ事前研修を行う。 ・見学旅行：10月から11月の1週間程度、専門分野と関連する企業や工場、施設を見学する。 ・就職進学向け講演会：2月ごろに、履歴書、自己PR、面接の仕方の講演を行う。（マイナビ） ・企業内容説明会：3月ごろに、企業からの仕事の講演、ブースによる個別説明を行う。					
注意点	また、OB・OGによる会社紹介などが適宜開催する。 その他に、希望者対象で 小論文／エントリーシート対策講座 面接練習 を行う。					
授業計画						
		週	授業内容			週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				

		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0